JCFN 代表主事レター

2026 年 3 月

2026 年も 3 月に入り、日本ではようやく暖かな日が続くようになってきました。桜の開花も間近です。JCFN の年度替わりは 7 月ですが、日本では多くの場合、年度は 4 月から始まります。そのため、どことなく新しい季節の始まりを感じながら、少しそわそわとした気持ちで日々の働きを続けています。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

◎ 他団体との関わり（日本）◎

日本の働きにおいて、他団体との関係を深め、働きを前進させていくことは、必要不可欠であり大変有益なことです。JCFN が日本で事務所を開設するにあたり、大きな支え手となってくださった団体がキリスト者学生会（KGK）でした。その KGK が主催する全国規模の学生訓練会（NET）が、毎年開催されています。今年も 2 月 16 日～21 日まで、国立オリンピック記念青少年総合センター（代々木）にて行われました。

昨年秋に KGK からブース出展の依頼をいただいていたため、2 月 19 日（木）の午後のブースの時間に会場を訪れ、出展することができました。驚くほどのことではないのかもしれませんが、ある意味で感動を覚えたのは、多くの学生が集う中で、JCFN のブースを見て挨拶に来てくれた過去の EC や GRC の参加者との再会があったこと、また学生たちの間でも帰国者の働きが少しずつ理解されてきていることでした。

2 月 21 日には、サムライプロジェクツが主催する「222 チャレンジ」と呼ばれる集会が、グレースシティチャーチ東京で開催されました。サムライプロジェクツは、聖書を教えるサーバントリーダーを訓練するプログラムを提供しています。教会や団体のスタッフやインターンがこの 2 年間のプログラムに参加し、教会や団体と連携しながら彼らを訓練することを目的としています。

今回の 222 チャレンジには、訓練生はもちろん、教会や団体の代表者、このプログラムに関心を持つ方々が集まりました。訓練生の証し、ゲストスピーカーによる講解説教、そしてスモールグループでの分かち合いの時間も持たれ、教派・教団を超えた交わりが、この集会を通して育まれていました。

星野優主事候補、平瀬明里主事候補の 2 名も、この 4 月からこのプログラムに加わり、訓練を受けることになっています。また当日は、この会場でもブース出展をさせていただき、JCFN の働きを知っていただく良い機会を持つことができました。

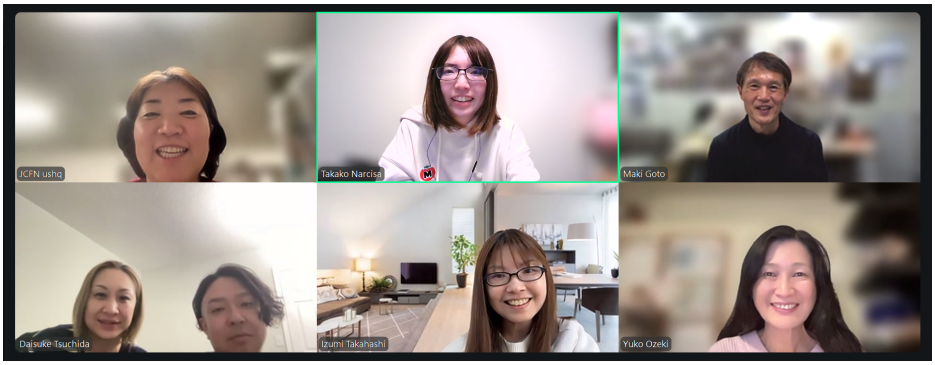
◎ Konnect（神奈川）◎

しばらく休止していた神奈川での帰国者集会 Konnect は、昨年 11 月に思いが与えられたリーダーたちによって活動が再開され、集会が開催されました。そして 2 月 23 日には、手巻き寿司パーティーを開くことができました。

今回は、集会のようなフォーマルな形でのミーティングではなく、お腹を満たしながら相互の交わりを深めるひとときとなりました。それだけでなく、賛美の時やスモールグループでの分かち合い、祈りの時も持たれ、とても祝福された交わりの時となりました。

育休中のキサンガラ主事もご家族で参加され、さらにもう一組のご夫婦の乳児も加わり、とてもアットホームな雰囲気の集まりだったことが印象的でした。これからも、可能な限り頻度を上げてミーティングを持っていきたいというリーダーたちの願いがあり、JCFN としても彼らの働きを支えていくことができればと願っています。

◎ 年次合同主事会 ◎



2 月 25 日～27 日と 3 月 4 日～6 日（北米時間では 2 月 24 日～26 日、3 月 3 日～5 日）に、年次の合同主事会がオンラインで開催されました。上記でも述べさせていただきましたが、JCFN の年度替わりは 7 月です。しかし毎年この時期に、これまでの活動の振り返りと新年度に向けた活動計画を行うため、合同主事会が持たれています。

昨年の合同主事会では、日本での働きが主事一人体制となることを受けて、どのように北米とコミュニケーションを取りながら日本での働きを進めていくことができるかが課題として挙げられていました。今年はその振り返りも行われました。

また、この数年で、JCFN に関わってくださる方々の広がりにも変化が見られています。これまで中心であった帰国者に加え、特に北米では若年層やユースとの関わりが増えてきています。さらに、サードカルチャーキッズ（TCK）と呼ばれる、成長期に親の母国とは異なる国や文化の中で生活してきた人たちとの関わりも多くなってきています。

日本においては、これまで通り帰国者との関わりが中心ではありますが、それだけではなく、働きに関わってくださる方々の中には、TCK として育ってきた方々や在留外国人の方々もおられます。人との関わりを基盤とする働きであるからこそ、これからどのようなミニストリーの展開をしていくべきか、また関わってくださる方々をどのようにケアしていくのかが、今後の課題となっています。

これまでの働きも、このミニストリーを通して主が送ってくださった多くの方々との関わりによって支えられ、広げられてきました。これからも同じように、主が送ってくださる人々とともにこの働きを進めていくために、どのようなミニストリーの展開が必要なのかを話し合い、祈り合う時となった合同主事会でした。

✿JCFN のためにお祈りください✿

◎EC26 の準備が始まり、これから具体的な内容の準備が進められていきます。開催は 12 月 28 日～1 月 1 日の予定です。EC の計画を中心的に進めていく実行委員会のために、集められる委員一人ひとりが、身体も心も霊も整えられて奉仕することができるようお祈りください。

◎高橋泉姉が、3 月 16 日に日本事務主事として就任しました。感謝いたします。これからの事務主事としての働きが祝福されるようお祈りください。また、引き続き、星野優姉（日本主事候補）、平瀬明里姉（日本主事候補）のファンドレイズのためにもお祈りください。あわせて、土田主事のビザの手続きが速やかに進み、永住権を得ることができるようお祈りください。

◎来年のことになりますが、GRC27 に向けて準備が始まっています。日程は 2027 年 5 月 2 日～5 日の予定で、会場も決まり、地理的には前回とほぼ同じ地域（山梨）での開催となります。これからの準備のため、特に実行委員会の立ち上げが守られるようお祈りください。

◎イギリスで開催される第 2 回 CoCo26（3 月 27 日～29 日）のためにもお祈りください。

◎世界の平和と正義のため、イランやグリーンランド、イスラエルとガザ、ウクライナの状況が守られ、争いが終わるよう、リーダーたちが主の御心に従い、公正と平和を優先して行動できるよう祈りましょう。

連絡先： Japanese Christian Fellowship Network　www.jcfn.org
北米本部： P.O. Box 17982, Irvine, CA 92623-7982 USA　ushq@jcfn.org　tel 657-247-0233
日本本部： 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC ビル内　nihon@jcfn.org　tel/fax:03-5217-2505

献金方法：①オンライン献金： USドル http://bit.ly/GiveJCFNonlineUS　日本円 https://jcfn.org/donationJP
②アメリカ：小切手による献金：小切手の宛先はJCFNにし、上記のP.O. Boxまで送付下さい。
③日本：（郵便振替） 加入者名：JCFN 口座番号：00100-8-565348
（みずほ銀行）九段支店 店番号532　口座番号1161342
口座名：JCFN日本代表　山﨑龍一 [JCFN ニホンダイヒョウ ヤマザキリュウイチ]